

競技上・審判上の注意

- 一、 今大会は、令和七年度日本バドミントン協会競技規則、大会運営規定及び公認審判規定に則り行います。
- 一、 選手は、日本バドミントン協会検定合格品を着用して試合に臨んで下さい。※注 1
- 一、 C クラスの全試合、A クラス B クラスの準々決勝までは 15 点 3 ゲームマッチ（ゲーム中のインターバルは 8 点の時、延長は 20 点まで）で行います。A クラス B クラスの準決勝から正式ポイントで行います。
- 一、 主審がスコアシートを持って本部へお越しください。負けた選手は試合をしたコートの次の試合の得点板を行って下さい。
- 一、 試合前の練習は初戦のみ 2 分間認めます。対戦相手と練習をして下さい。片方の選手が初戦（シード選手等）の場合、もう片方の選手が二回戦であっても練習を認めます。
- 一、 開会式終了後、速やかに試合を始められるように、タイムテーブルの一巡目と二巡目の選手は、試合のできる服装で開会式に参加してください。
- 一、 タイムテーブルの一巡目のみコートが固定になります。一巡目の選手は、開会式終了後に自分が試合をするコートへ直接移動してください。二巡目の選手は選手集合所にお集まりください。
- 一、 タイムテーブルの二巡目以降からは全てのコートで流し込みになります。放送によく注意してください。
- 一、 コーチ席に座る方の服装について、I 種大会の規定に基づいた服装をお願いいたします。※注 2
- 一、 主審、線審二名は責任コートで割り当てられたコートを担当するチームで行ってください。また、一巡目に限り得点板も責任コートのチームから割り当てるようお願いいたします。（二巡目以降、敗者が得点板）
- 一、 審判の服装について、ラフ過ぎない服装で従事してください。また、必ず体育館シューズを履くようにしてください。（スリッパは禁止です。）
- 一、 審判（主審、線審）の補助について、ベスト 16 までの試合は経験が浅く一人での審判に不安がある方は、1 名だけ審判補助を付けることを許可します。（責任コート内をお願いいたします。）準々決勝以降は、補助はつけないようにしてください。

参照

注 1 日本バドミントン協会大会運営規定 第 23 条、第 24 条

注 2 日本バドミントン協会公認審判規定 第 3 条第 5 項 (6) ②コート外からのアドバイス